

5月の野菜の見通し

平成31年4月26日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	8,980	並	9,934	85	106%	91	-	-	1月の干ばつの影響で遅れていた分が出て、5月はこれまでより増量の見込み。千葉産は数量平年並みで安定した入荷の予想。下旬頃には青森産も出回り始めるだろう。見通し単価90円は前年よりも安いも平年並み。
ほうれん そう	1,412	並	1,424	446	90%	456	-	-	作付動向は各産地まちまちも、生育順調で総体の入荷量は前年・平年並みの予想。4月の販売苦戦が5月にも続かたちとなるか。見通し単価400円は前年・平年よりやや安い。
ねぎ	3,607	並	3,645	424	94%	425	2	0.1	春ねぎが中・下旬にかけて終了、上旬は初夏ねぎが出回り始めて中・下旬にピークとなろう。総体の入荷量は前年比微増の見込み。4月下旬から田植えの作業に入ると、春ねぎから初夏ねぎへの切換えに際し品薄感の気配あり。見通し単価400円は前年・平年比で若干安。
きゅうり	9,219	並	8,843	258	97%	248	46	0.5	関東産地は作付微減につき、総体の入荷量は平年並みか微減の見込み。5月前半は不足なく出回り、相場も軟調が予想されるが、後半は平年より少ないことも考えられる。見通し単価250円は前年・平年並み。
トマト	10,990	多い	10,224	270	96%	300	14	0.1	栃木・熊本・愛知中心の出回り。作付面積減少の産地もあり、総体の入荷量は前年より微減の見込み。販売面では4月の荷動きの鈍さから変わらず、相場は軟調推移が予想される。見通し単価260円は前年比で若干安、平年比でも1割程度安い。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)